

作成例

第1号様式（第4条関係）

沖縄県知事 殿

文書番号のない団体は空欄で結構です。

沖 障 音 第 1 2 号
平成28年5月20日

申請書の提出期限は毎年5月31日までです！

代表者名の記入と代表者公印の押印を忘れずに！
○代表者（会長等）印
×会印

所在地 那覇市泉崎4-32-1
団体名 沖縄県障害者音楽協会
会長 沖繩 太郎

印

平成28年度沖縄県障害者社会活動推進事業補助金交付申請書

平成28年度沖縄県障害者社会活動推進事業補助金について、下記により交付されるよう申請します。

限度額を超える申請は不可。
沖縄県障害福祉課のホームページ要確認！

記

- 1 申請額 金 500,000円
- 2 事業の目的及び内容

障害者音楽教室・演奏会事業

(1) 事業の目的

障害のある人もない人も一緒になって楽器演奏を楽しむことで、障害者芸術文化活動の裾野を広げるとともに県民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の促進に寄与することを目的とする。

(2) 事業の内容

音楽経験者の指導のもと、県内各地で音楽体験教
催する。参加資格には障害の種別や障害の有無は問
なるようにする。

- ①事業名を記入すること。
②項目を分けて事業目的と事業内容を記入すること。
③事業内容及び目的はわかりやすく簡潔に記入すること。

(5)について

法人格のない団体は、会の規約（又は会則）や代表者・構成員が分かる書類、会の事業内容が分かる書類を添付。

添付書類

- (1) 沖縄県障害者社会活動推進事業の概要説明書（第1号様式の2）
- (2) 沖縄県障害者社会活動推進事業の事業計画書（第1号様式の3）
- (3) 収入支出予算書
- (4) 障害者団体活動記録台帳（第1号様式の4）
- (5) 沖縄県障害者音楽協会規約（又は会則）、役員名簿及び平成28年度事業計画書
- (6) 平成28年度障害者音楽教室・演奏会事業開催要綱及び平成27年度事業実績書

(5)について

過去に実績のない事業である場合は、当該事業によって障害者の社会参加が促進されることを示す書類を添付。

作成例

第1号様式の2（第4条関係）

沖縄県障害者社会活動推進事業補助金の概要説明書

1 団体名 沖縄県障害者音楽協会 代表者名 沖繩 太郎	電話番号 098-700-0000 FAX 098-700-9999 Eメール jimukyoku@okishoon.ne.jp
	担当者名 沖繩 花子
所在地 那覇市泉崎4-32-1	
2 事業名 障害者音楽教室・演奏会事業	事業種目No. (2)及び(4)
3 事業内容 障害者音楽教室・演奏会事業 (1) 目的 障害のある人もない人も一緒になって楽器演奏を楽しむことで、障害者芸術文化活の裾野を広げるとともに県民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の促進に寄与することを目的とする。参加資格には、障害の種別や障害の有無は問わない。 (2) 実施方法 北部、中部、南部地区で音楽教室を計15回、合同演奏会を1回開催する。 主に障害者を中心に広く県民に参加を募集。学校・公民館等の公共の施設を借用し、音楽経験者による指導のもと練習を行い、年度末に県内ホールにて演奏会を開催する。 音楽教室 障害者向けに楽器の演奏を指導。 演奏会の実施 障害者と健常者を演奏会の実施。 (3) 広報啓発の方法 ア インターネットや会報により広報する。（事前告知だけでなく事後報告も） イ 小・中・高・特別支援学校を通して児童・生徒・父兄に参加を呼びかける。 ウ 障害者の参加を募集するため、施設や事業所、病院などへも広報し、知的や精神の団体への協力も呼びかける。 エ テレビや新聞などのマスコミへ取材依頼等を行うことで広く県民広報する。	

沖縄県障害者社会活動推進事業補助金交付規程第4条第1項の何号に該当するか記入します。

事業内容は分かりやすく簡潔に記入すること。目的、実施方法、広報啓発の方法、事業効果等の項目ごとに記入すると分かりやすいです。

広報啓発は補助金交付を受ける上での重要な要件の一つとなっていますので、広報啓発の実施方法について必ず記入すること！

(4) 事業効果

ア 障害のある人に対する効果

普段は観客として受動的な立場となることが多い障害者が実際に楽器演奏をし表現者として舞台に立つことで自信を持つことができ、また、演奏者と観客が音楽の楽しさを実感することにより、障害者芸術文化活動の裾野を広げる効果が期待できる。また、障害種別の異なる障害者が楽器演奏を通じて交流することで、お互いの理解を深めることができる。

イ 障害のない人に対する効果

障害のある人とない人が音楽演奏を通じて交流することで、県民の障害に対する理解が深まり、障害者の自立と社会参加が促進されることが期待できる。

4 事業実施期間 平成28年9月1日～平成29年2月28日

5 事業に係る予算総額 958千円

事業費の総額を記入すること。

算出内訳に記載した経費については、実績報告時に領収書を提出していただきますので、保存しておいてください。

6 支出予算額算出内訳

(1) 報酬 (90千円)

音楽教室指導員謝礼

2,000円×3人×15回=90,000円

節ごとに経費を分けて記入し、節の金額は、千円未満を四捨五入してください。また、端数を調整し、総事業費が、円単位合計の千円未満切り上げになるよう調整してください。

(2) 賃金 (千円)

○特別に事務局を設置する場合の事務局職員賃金等

内訳も具体的に、可能な限り詳細に記載すること。

(3) 報償費 (75千円)

出演記念メダル

1,500円×50個=75,000円

○優勝賞品・参加賞等（補助金事業として常識的に許容される範囲内）

合計 75,000円

(4) 旅費 (106千円)

○離島往復航空費・県外講師招聘旅費等
×県外イベント（全国大会・講習会等）への参加旅費

ア 普通旅費

北部・中部での調整及び大会実施のための旅費

北部(4,000円×3回) + 中部(500円×3回) = 13,500円

小計 13,500円

イ 指揮者旅費

練習用指導者旅費

2,000円×3人×15回=90,000円

演奏会指揮者旅費

2,000円

小計 92,000円

合計 105,500円

(5) 需用費 (80千円)

ア 消耗品費

コピー用紙代 (A4コピー用紙2箱:10,000枚)	3,000円×2箱=6,000円
	事務用消耗品
トナー	2本×5,400円=10,800円
○×□	5つ×1,120円=5,600円
×○×□	4本×875円=3,500円

本事業を実施するために特別にかかる経費として按分できる範囲内。
×事務局の通常業務の経費

小計 25,900円

イ 印刷製本費

複写機料金	5,000枚×0.75円×1.08=4,050円
広報用チラシ、パンフレット印刷	10円×5,000部=50,000円

小計 54,050円

合計 79,950円

(6) 役務費 (11千円) ○送料・電話料金・保険料

ア 通信運搬費

書類送料	5,000円
電話通信料	1,000円×6ヶ月=6,000円
	合計 11,000円

本事業を実施するために特別にかかる経費として按分できる範囲内。
×事務局の通常業務の経費

(7) 委託料 (千円)

(8) 使用料及び賃借料 (596千円)

教室・練習会場使用料	13,000円×15回=195,000円
楽器借用料	20,000円×15回=300,000円
演奏会会場使用料	全日 100,900円
	合計 595,900円

(9) その他 (千円)

通常は記入しない
(県との協議で特に認められたもの)

作成例

第1号様式の3（第4条関係）

沖縄県障害者社会活動推進事業の事業計画書

1 団体名 沖縄県障害者音楽協会	2 事業名 障害者音楽教室・演奏会事業 事業番号 (2)及び(4)
3 事業計画 (1) 対象地域 北部、中部、南部地区で音楽教室を計15回、合同演奏会を1回開催する。 (2) 対象者 音楽教室の開催 参加者：障害のある方又は障害のない方で、楽器の演奏に興味・熱意のある方 ※障害の種別は問わない 合同演奏会の開催 参加者：上記音楽教室の参加者の練習成果として合同演奏会を開催する。 観客：本事業の普及啓発のため、対象者を限定しない。 (3) 事業の必要性 障害のある人もない人も一緒になって楽器演奏を楽しむことで、障害者芸術文化活動の裾野を広げるとともに県民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加促進に寄与することを目的とする。 障害のある方は、普段は観客として受動的な立場になることが多いため、楽器演奏を通じて様々な人たちと交流することができ、本人の自信にもつながるため、本事業を上記目的において実施する。 また、過去2年間において、下記の実績があり、普及啓発活動により広く周知され、今年度は約〇〇名の参加者及び約〇〇名の観客動員が見込まれており、ニーズの高い事業となっている。 <p style="text-align: center;">記</p> 平成27年度実績：音楽教室参加者【障害のある方〇〇人、障害のない方〇〇人】 合同演奏会観客動員数〇〇人 平成26年度実績：音楽教室参加者【障害のある方〇〇人、障害のない方〇〇人】 合同演奏会観客動員数〇〇人	
(4) 事業の効果 ア 障害のある人に対する効果 普段は観客として受動的な立場となることが多い障害者が実際に楽器演奏をし	

対象地域を記入してください。
〇〇地区、〇〇市町村、〇〇圏域等

どのような方が対象となるのか、具体的に記入します。
講演会・研修会等の場合、募集要項の参加対象者の記述をそのまま記入してください。

実施する事業のニーズ等について、具体的に記入してください。
これまでの事業実績や、基礎データ等資料があれば、添付をお願いします。

平成27年度までは、第1号様式の2に記載していた事項になります。
第1号様式の2への記入は省略していただいてもかまいません。

表現者として舞台に立つことで自信を持つことができ、また、演奏者と観客が音楽の楽しさを実感することにより、障害者芸術文化活動の裾野を広げる効果が期待できる。また、障害種別の異なる障害者が楽器演奏を通じて交流することで、お互いの理解を深めることができる。

イ 障害のない人に対する効果

障害のある人とない人が音楽演奏を通じて交流することで、県民の障害に対する理解が深まり、障害者の自立と社会参加が促進されることが期待できる。

(5) 事業の実施時期及び内容

事業の実施時期及び内容について、具体的に記入をお願いします。
実施内容が曖昧だと、追加資料の提出又は様式の補正をお願いする場合があります。

実施時期	実施内容
平成28年9月～ 平成29年1月	<p><u>北部、中部、南部地区で計15回の、音楽教室を開催する。</u></p> <p>音楽教室：1回／1月×5ヶ月×3地区＝計15回 ※1回につき、2時間の音楽教室を開催予定</p> <p>開催場所：北部 ○○町公民館（借用） 中部 ○×高等学校音楽室（借用） 南部 ×□中学校音楽室（借用）</p> <p>指導員：○×高等学校吹奏楽部のOB/OG 2～3名へ依頼予定</p> <p>参加者募集方法：インターネットや会報を利用する。 小・中・高・特別支援学校を通して参加を呼びかける。 障害者の参加を募集するため、施設や事業所、病院、その他団体への協力の呼びかけをする。</p>
平成29年2月	<p><u>合同演奏会を開催する。</u></p> <p>演奏者：音楽教室の参加者をベースに、北部、中部、南部と地区ごとに演奏団体を構成する（3団体）。 また、障害のある方を含む他の演奏団体の参加も募集する（2～3団体程度）。</p> <p>開催場所：○○市○○文化ホール（収容人数 約1,000名）</p> <p>観客募集方法：音楽教室参加者募集方法に加え、テレビやマスコミへの取材依頼等をして、広く県民に呼びかけをする。 また、観客の入館料は無料とする。</p>

注 3(5)の「事業の実施時期及び内容」については、具体的な時期が確定していない場合には、事業の実施を予定する年月を記入すること。

作成例

第1号様式の4（第4条関係）

障害者団体活動記録台帳（平成28年3月現在）

団体名	沖縄県障害者音楽協会		
所在地	那覇市泉崎4-32-1		電話番号 098-700-0000
			F A X 098-700-9999
代表者名	沖繩 太郎		Eメール jimukyoku@okishoon.jp
			会員数 正会員 500名 賛助会員 200名
連絡先	氏名	沖繩 花子	電話番号 098-700-1111
	住所	那覇市泉崎4-32-1	F A X 098-700-2222
			Eメール hana@okishoon.ne.jp
<p>主な事業（補助対象事業以外の事業も含む）</p> <p>(1) 障害者社会活動推進事業補助金の交付を希望する事業 障害者音楽教室・演奏会事業</p> <p>(2) 障害者社会活動推進事業補助金の交付を希望しない主な事業</p> <p>ア 障害者向け演奏会事業 県外・国外から著名な演奏家を招聘し、日頃音楽に親しむことの少ない障害者等を観客として招待し演奏会を開催する。</p> <p>イ 指導者養成研修事業を目的とする。</p> <p>ウ ××△△事業</p>			

貴会の実情に沿って記入して下さい。
例えば、賛助会員や団体会員がある場合は、それらについても記入することになります。

代表以外の連絡先がある場合に記入します。

補助を希望する事業とそうでない主な事業を分けて記入して下さい。
事業名と併せて簡単な事業概要も記入して下さい。

1 団体に係る予算の状況等

(1) 総額 8,000千円

貴会の予算総額を記入することになります。
補助金交付を受けない前提の額を記入して下さい。

(2) 会費

ア 正会員	一人当たり年額	1,000円
	一人当たり月額	— 円
イ 賛助会員	一人当たり年額	500円
	一人当たり月額	— 円

貴会の実情に沿って記入して下さい。
できる限り詳細に記入すること！

※ 当会は、年1回の会費徴収となっているため、「一人当たり月額」は未記入となっている。

(3) その他

貴会が現在どのような課題を抱えているかできる限り詳細記入し、それに対する対応策等を記入して下さい。

2 今後における団体運営の課題

当会は自主財源に乏しく、予算の多くを県や市町村等の行政機関の補助金や委託料が占めている。

今後は、当会の活動趣旨をより多くの県民へ周知を図りながら、更なる会員や賛助会員の確保に努めたいと考えている。また、会費や寄附以外の収入を確保するため、平成__年度から××〇〇販売事業を実施し、収益を当会の××△△事業の特定財源にしたいと考えている。また、□□××養成研修事業の参加者から参加費を徴収できるかどうかについても検討中である。

(目標)

平成__年度までに現在の会員、賛助会員の人数を倍増する。

作成例：中止又は廃止の場合

第2号様式（第8条関係）

沖縄県知事 殿

事業の中止（又は廃止）が確定しましたら、速やかに当該申請書を提出して下さい。

沖障音第33号
平成28年10月31日

所在地 那覇市泉崎4-32-1

団体名 沖縄県障害者音楽協会

会長 沖繩 太郎

印

代表者名の記入と代表者公印の押印を忘れずに！

○代表者（会長等）印 ×会印

平成28年度沖縄県障害者社会活動推進事業計画等変更承認申請書

平成28年○月×日付け沖縄県指令子第○○□□号で補助金交付決定のありました補助事業について下記のとおり中止（又は廃止）したいので、沖縄県障害者社会活動推進事業補助金交付規程第8条の規定により申請します。

補助金の交付決定を受けたら、交付決定通知書が送付されます。
交付決定通知書に指令○○□□号と記載されているので、それを記入しましょう！

記

変更（中止、廃止）する理由は、分かりやすく簡潔に記入すること！

1 中止（又は廃止）の理由

補助事業：障害者音楽教室・演奏会事業

当会は、北部、中部、南部の各地区での障害者音楽教室の開催に向け努めてきたが、
……………の……………による当該事業を実施するための財源の不足及び……………による……………
……………のため、事業の実施が難しくなった。

2 その他関係書類

(1) 事業を中止（又は廃止）する理由書

(2) ……………

中止又は廃止の場合は、「変更の内容に係る新旧を対照することができる書類」の添付は不要です。

補助事業を中止（又は廃止）する場合は、詳細な理由書やその他書類を添付して下さい。

作成例：変更の場合

第2号様式（第8条関係）

沖縄県知事 殿

事業内容の変更等が確定しましたら、速やかに当該申請書を提出して下さい。

沖障音第55号
平成28年12月15日

所在地 那覇市泉崎4-32-1

団体名 沖縄県障害者音楽協会

会長 沖繩 太郎

印

代表者名の記入と代表者公印の押印を忘れずに！
○代表者（会長等）印 ×会印

平成28年度沖縄県障害者社会活動推進事業計画等変更承認申請書

平成28年○月×日付け沖縄県指令福第○○□□号で補助金交付決定のありました補助事業について下記のとおり変更したいので、沖縄県障害者社会活動推進事業補助金交付規程第8条の規定により申請します。

補助金の交付決定を受けたら、交付決定通知書が送付されます。
交付決定通知書に指令○○□□号と記載されているので、それを記入しましょう！

記

変更（中止、廃止）する理由は、分かりやすく簡潔に記入すること！

1 変更の理由

補助事業：障害者音楽教室・演奏会事業

障害者音楽教室の実施回数を北部、中部、南部の計3回から北部、中部で各1回ずつ、南部で2回の計4回に変更するため。それに伴い、経費の配分についても変更する。

- 2 変更の内容に係る新旧を対照することができる書類
- 3 その他関係書類

変更前と変更後の違いが分かるような「新旧対照表」を添付して下さい

- (1) 変更後の事業計画書
- (2) 変更後の○○○○実施（開催）要綱
- (3)

変更後の「事業計画書」「実施要綱」「第1号様式の2」等、必要書類を添付して下さい。

変更により事業額が当初の交付決定額を下回る場合は差額を返還していただきます。御注意ねがいます。

作成例

第3号様式（第9条関係）

沖縄県知事 殿

実績報告書は、事業が完了してから30日を経過する日又は補助金の交付があった年度の翌年度の4月10日のいずれか早い日までに提出する必要があります。

沖障音第88号
平成29年3月20日

所在地 那覇市泉崎4-32-1
団体名 沖縄県障害者音楽協会
会長 沖繩 太郎

印

代表者名の記入と代表者公印の押印を忘れずに！
○代表者（会長等）印 ×会印

平成28年度沖縄県障害者社会活動推進事業補助金実績報告書

平成28年○月×日付け沖縄県指令子第○○□□号で交付決定のありました沖縄県障害者社会活動推進事業が完了しましたので、下記のとおり報告します。

記

補助金の交付決定を受けたら、交付決定通知書が送付されます。
交付決定通知書に指令○○□□号と記載されているので、それを記入しましょう！

- 1 沖縄県障害者社会活動推進事業補助金実績報告書
- 2 障害者団体事業実績報告書及び収入支出決算書

（添付書類）

補助事業に係る収支に関する状況を明らかにする領収書その他の書類の写し

第3号様式別紙2の「収支決算額算出内訳」の根拠となる書類を添付していただきます。
領収書の写しを添付する必要があるため、領収書はなくさずに大切に保管しましょう！

作成例

(別紙1)

沖縄県障害者社会活動推進事業実績報告書

1 団体名 沖縄県障害者音楽協会 代表者名 沖繩 太郎	電話番号 098-700-0000 F A X 098-700-9999 Eメール jimukyoku@okishoon.ne.jp
	担当者名 沖繩 花子
所在地 那覇市泉崎4-32-1	沖縄県障害者社会活動推進事業補助金交付規程第4条第1項の何号に該当するか記入します。
2 事業名 障害者音楽教室・演奏会事業	事業種目No. (2)及び(4)
3 事業の実施内容及び成果 (1) 事業の実施内容 ア 音楽教室 音楽教室は中部、南部地区で計12回開催した。 県内の小・中・高・特別支援学校を中心に広く県民に参加を募集、また障害のない県民にも広く参加を呼びかけた。学校の音楽室（中部地区は○×高等学校。南部地区は×□中学校）を借用し、音楽指導者3名の指導のもと、実施した。 ① 音楽教室（中部地区）の参加実績 参加者数 38名（うち、健常者14名、身体障害者20名、知的障害者4名） ボランティア 12名（○×高等学校の生徒） 音楽指導員 3名（○×高等学校吹奏楽部0B/0G） ② 音楽教室（南部地区）の参加実績 参加者数 60名（うち、健常者17名、身体障害者28名、知的障害者13名、精神障害者2名） ボランティア 12名（×□中学校の生徒） 音楽指導員 3名（○○高等学校音楽教諭） ③ 北部地区での実施について 北部地区については、………による………により実施ができなかった。	事業内容及び成果は分かりやすく簡潔に記入すること。目的、実施方法、広報啓発の方法、事業効果等の項目ごとに記入すると分かりやすいです。
※ 北部地区での事業未実施による事業内容の変更については、平成26年○月×日付け沖障音第55号「平成28年度沖縄県障害者社会活動推進事業計画等変更承認申請書」を	

提出し、平成28年×月○日付け子障第○○□×号「平成28年度沖縄県障害者社会活動推進事業計画等変更承認書」により、承認されている。

イ 演奏会

平成28年2月○日、○○市○○文化ホールにて開催。

55名が演奏者として参加、約1,000名の観客入場があった。

事業内容等を変更しようとするときは、事前に知事の承認を得る必要があります。

(2) 広報啓発の実施内容

ア インターネットや当会機関誌によって事前告知したほか、演奏会の様子をホームページや動画投稿サイトに掲載し、動画再生回数は2万回を超えた。

イ 小・中・高・特別支援学校を通して児童・生徒・父兄に参加を呼びかけ、障害者だけでなく多くの参加があった。

ウ 知的障害者や精神障害者の参加を募集するため、施設や事業所、病院などへも広報し、知的や精神の団体への協力も呼びかけたことにより、身体障害者だけでなく、知的障害者や精神障害者の参加も見られた。

エ テレビや新聞などのマスコミへ取材依頼等を行うことで広く県民広報したことにより、教室および演奏会の様子が新聞・テレビで報道された。（別添記事参照）

事業の広報啓発は、補助金の交付を受ける上での必須要件となっていますので、どのように事業を広報したか記入しましょう！

(3) 事業の成果

ア 障害のある人に対する効果

普段は楽器演奏を体験することがない障害者が楽器演奏を体験し、楽器演奏の楽しさを実感することで、芸術文化活動の裾野を広げる効果があった。また、障害種別の異なる障害者が楽器演奏を通じて交流することで、お互いの理解を深めることができた。

イ 障害のない人に対する効果

健常者と障害者が楽器演奏を通じて交流することで、県民（健常者）の障害に対する理解を深めることができた。特に、児童・生徒が多く参加したことによって、児童・生徒が障害者に直に接し、障害のある人に対する配慮はどのようにしたらよいかを実体験として学べたことは、児童・生徒の教育に良い効果を発揮した。

4 事業実施期間 平成28年9月1日～平成29年2月28日

備考 3の「事業の実施内容及び成果」は、実施した事業の内容及びその成果について把握できる添付して提出すること。特に、補助事業の実施に係る普及啓発に関する資料については、可能な限り提出すること。

(別紙2)

5	決算総額	730,125円	
	うち補助金額	461,000円	
	うち自己負担額	269,125円	
6	支出決算額算出内訳		
	(1) 報酬 (72千円)		
	音楽教室指導員謝礼		2,000円 × 3人 × 12回 = 72,000円
	(2) 賃金 (千円)		
	(3) 報償費 (83千円)		
	出演記念マグカップ		1,500円 × 55個 = 82,500円
			合計 82,500円
	(4) 旅費 (27千円)		
	ア 普通旅費		
	中部での教室実施のための旅費		中部400円 × 3回 × 2(往復) = 2,400円
	イ 指揮者旅費		
	練習用指導者旅費		500円 × 3人 × 3回 × 2(往復) = 9,000円
	演奏会指揮者旅費		2,000円 × 4回 × 2(往復) = 16,000円
			小計 25,000円
			合計 27,400円
	(5) 需用費 (163千円)		
	ア 消耗品費		
	コピー用紙代 (A4コピー用紙2箱: 10,000枚)		2,800円 × 2箱 = 5,600円
	当日文具代 (はさみ・ガムテープ等)		1,080円
			小計 6,680円
	イ 印刷製本費		
	演奏会パンフレット印刷費		31.28円 × 5,000部 = 156,400円
			小計 156,400円
			合計 163,080円

補助金の額については、毎年4月1日に決定しますが、交付申請書を提出した法人その他団体の数によっては、補助金の額を変更することがあります。そのため、申請書で申請した額と異なった額が交付決定されることがあります。
この場合は、申請時と交付時で補助金の額が違う場合です。

算出内訳に記載した経費については、必ず領収書を添付すること。
(領収書が無い場合は、請求書+引き落とし通帳のコピー等で代用可)

自己負担額の欄には、補助金以外の額(寄附等も含む)を記入して下さい。

項目別予算より20%以内の増額なら変更申請は不要。
(20%以上増額する場合は予め変更申請すること)

(6) 役務費 (8 千円)		
ア 通信運搬費		
書類送料		3,040円
電話通信料		5,205円
		<u>合計 8,245円</u>
(7) 委託料 (千円)		
(8) 使用料及び賃借料 (377千円)		
楽器借用料	20,000円 × 13回 =	260,000円
演奏会会場使用料	全日	116,900円
※ 練習は公立学校の教室を使用し、使用料の減免を受けたので実績なし。		
		<u>合計 376,900円</u>
(9) その他 (千円)		

領収書等の写しを添付し、領収書と額を一致させること！
(口座振替等の場合は、請求書と通帳のコピー等でも代用可)

注意 6の「支出決算額算出内訳」に関する書類として添付される「補助事業に係る収支に関する状況を明らかにする領収書その他の書類の写し」については、一連番号を附すなどし、支出決算額算出内訳の額に応じ整理し提出すること。

「領収書その他の書類の写し」の添付は必須です。
支出決算額算出内訳の額に応じ整理し提出して下さい。

例えば...

(4) 旅費

ア 普通旅費

名護市〇〇へ3回。バスで移動。〇〇円 (バスの半券のコピーを添付)

(5) 需要費

イ 消耗品費

A4コピー用紙2箱：10,000枚。〇〇円 (領収書のコピーを添付)

作成例

第4号様式（第10条関係）

社会活動推進事業補助金請求書

	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
請求額					¥	4	0	0	0	0

ただし、平成28年度沖縄県障害者社会活動推進事業補助金として

年度は間違えないように！

内 _____ 訳

	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
補助金交付決定額				¥	4	0	0	0	0	0
交付済額				¥	3	6	0	0	0	0
今回請求額					¥	4	0	0	0	0
残額									¥	0

上記のとおり請求します。

なお、支払は次の口座振替依頼に示す口座へお願いします。

平成29年4月20日

代表者名の記入と代表者公印の押印を忘れずに！

○代表者(会長等)之印
×会之印

補助金の交付時期は、実績報告を提出し、確定の通知を受けてからの交付となります。
確定の通知を受けましたら、補助金請求書(当該請求書)を提出することになります。

所在地 那覇市泉崎4-32-1

団体名 沖縄県障害者音楽協会

会長 沖繩 太郎

印

沖縄県知事 殿

交付申請書・実績報告書に記載の代表者と合致させること。
(合致していない場合は委任状が必要です。御相談ください。)

口座振替依頼	
金融機関・支店名	○×銀行△△支店
預金の種類	普通預金
口座番号	○○○××△□
口座名義人	沖縄県障害者スポレク協会 会長 沖繩 太郎

作成例

第5号様式（第11条関係）

沖縄県知事 殿

概算払の請求は、交付決定の通知を受けた日から可能です。

文書番号のない団体は空欄で結構です。

沖障音第50号
平成28年9月30日

所在地 那覇市泉崎4-32-1

団体名 沖縄県障害者音楽協会

会長 沖繩 太郎

印

代表者名の記入と代表者公印の押印を忘れずに！

○代表者（会長等）印 ×会印

平成28年度沖縄県障害者社会活動推進事業補助金概算払請求書

平成28年〇月×日付け沖縄県指令子第〇〇〇〇号で交付決定のありました補助金について、沖縄県障害者社会活動推進事業補助金交付規程第11条の規定により、概算払を下記のとおり請求します。

補助金の交付決定を受けたら、交付決定通知書が送付されます。
交付決定通知書に指令〇〇〇〇号と記載されているので、それを記入しましょう！

記

概算払できる額は、交付決定額の9割以内となっています。
残りは、実績報告書を提出し、確定の通知を受け取った後に請求することになります。

金 360,000円也

内訳

交付決定額	400,000円也
概算払受領済額	0円也
今回請求額	360,000円也
残額	40,000円也

口座振替依頼	
金融機関・支店名	○×銀行△△支店
預金の種類	普通預金
口座番号	〇〇〇××△□
口座名義	沖縄県障害者音楽協会 会長 沖繩 太郎

口座名義は請求者と合致させること（役職等も）
※合致していない場合は委任状が必要です。御相談ください。